

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	4 2
		決裁期日	平成 2 7 年 4 月 3 0 日
名 称	住民会長との町政懇談会		
日 時	平成 2 7 年 4 月 1 5 日 (水) 午後 1 時 3 0 分～午後 3 時 3 5 分		
場 所	消防 2 階大会議室		
出席者	住民会長 2 3 名 (別紙) 理事者：向山町長・田中副町長・服部教育長 課長職：石田総務課長他 11 名 (別紙) 町民生活課自治推進班：谷口主幹、田中主事		
内 容	<p>司会：田中副町長</p> <p>○向山町長挨拶</p> <p>お忙しいなか、お集まりいただきましてありがとうございます。併せて、行政推進にあたり、日頃からご協力いただいていることに対しまして感謝申し上げます。今年の冬は、降雪量が少なく、雪どけも順調に進み、農作業も順調に進んでいると伺っており、豊穰の秋を期待しています。行政におきましても、4月1日から平成27年度の事業をスタートしました。本年度の一般会計予算につきましては、6.4%の増となっておりますが、要因としては上富良野中学校の耐震改修工事による増が過半を占めており、予算全体では、ほぼ平年並みの緊縮財政という状況のなかで平成27年度の事業運営を進めています。一方、町民のみなさまの安全安心の確保について大きな課題であり、特に十勝岳の活動状況については大変ご心配のことと思います。過般、火山性微動が一時異常に増加しました。气象台からの情報によりますと、活動そのものは活発化の方向にあることに変わりはなく、今後もこのような状況が繰り返されるようであれば、再び噴火警戒レベルを引き上げなければならないと伺っています。このことについては、動きがあり次第すぐ住民のみなさまにお知らせする体制を整えていますので、ご理解を賜りたいと思います。</p> <p>大きな行政課題としましては、全国的な問題であります。少子高齢化の波が押し寄せる中にありまして、町として人口減少対策をどのようにすすめ地域の活性化を図っていくかについて、平成27年度の町の事業の中でも大きく力を注いでいく項目に位置づけています。上富良野町のみならずどこの市町村でも同じ課題を抱えています。人口減少を食い止めて、そして地域の活性化に向けて取り組みたいと考えています。平成27年度につきましては、全国一律であります。それぞれ地域における総合戦略計画の策定に向けて準備を進めておりまして、これに基づいて上富良野町の活性化を目指したいと考えています。計画の策定に向けて、広く町民の皆様からのご意見を賜りたいと考えていますのでよろしくお願ひします。</p>		

○課長職（人事異動6名）、新規採用職員（4名）紹介

(13時43分)

【議事】

議題1 平成27年度予算及び仕事の概要について

説明者： 総務課長より資料1に基づき説明

〈質疑〉

旭住民会長： 防災対策について、ハザードマップを新しく作成するということですが、いつ頃完成する予定でしょうか。

総務課長： 具体的なスケジュールはできていませんが、年度内には完成させて皆様にお配りしたいと考えています。

旭住民会長： 今までのハザードマップの避難場所について、水害時と十勝岳噴火時の避難場所が少し異なっていましたが、どのように考えているのでしょうか。

総務課長： 水防、火山防災について、同じところに住んでいてもそれぞれ災害の状況によって指定される避難場所が変わります。新しいハザードマップは、それぞれ災害に応じた避難行動がわかりやすいものを作りたいと考えています。

島津住民会長： 避難場所について、島津地区は「高台へ避難してください」というような表記がされています。「役場」「ラベンダーハイツ」のようにはっきりと場所を指定した標記にしていきたいのですが、どうでしょうか。

副町長： 避難については、十勝岳の噴火泥流を想定した避難、水害の際には各河川の洪水を想定した避難となり、災害によって避難する場所が異なってきます。それにより混乱することも見込まれますので、新しいハザードマップの作成時には整理が必要であると考えています。また、災害がどのようなかたちで襲ってくるかわかりませんので、災害発生時の一時危険回避として高台への避難をお願いしており、その後に避難施設に移動していただきたいと考えています。予兆の確認ができ、事前に避難の指示があった場合には、速やかに避難施設への避難をお願いしています。新しいハザードマップには、避難行動をマニュアルとして記載できるよう防災意識の向上に向けて住民の皆様と話し合いを進めたいと考えています。

(14時03分)

議題2 避難行動支援者の避難行動計画について

説明者： 総務課長より資料2に基づき説明

質疑なし

議題3 第6期介護保険事業計画について

説明者： 保健福祉課長より資料3に基づき説明

質疑なし。

議題4 がん検診の受診について

説明者： 健康づくり担当課長より資料4に基づき説明
質疑なし。

議題5 プレミアム付商品券等発行事業について

説明者： 産業振興課長より資料5に基づき説明

西富住民会長： 上期の商品券については店舗による使用枚数に制限はないということですが、大型店小型店関係なく持っている商品券を全て同じ店舗で使用しても良いということでしょうか。

産業振興課長： はい、そうです。下期につきましては、地元の商店に事業効果を拡散するため制限を設けるよう検討しています。

議題6 中央コミュニティ広場大型テントの利活用について

説明者： 産業振興課長より資料6に基づき説明
質疑なし。

議題7 住民との協働作業による主要町道の環境美化活動について

説明者： 建設水道課長より資料7に基づき説明
質疑なし。

議題8 住民会関係スポーツ事業について

説明者： 教育振興課長より資料8に基づき説明
質疑なし。

議題9 住民自治活動奨励事業補助金等について

説明者： 町民生活課長より資料9に基づき説明
質疑なし。

議題10 平成27年度広報広聴事業について

説明者： 町民生活課長より資料10に基づき説明
質疑なし。

(14時46分)

○意見交換

旭野住民会長： 十勝岳のジオパーク認定について、どのような利点を見込んでいるのでしょうか。

総務課長： 十勝岳は、火山噴火による災害に関わる部分もありますが、多くの恵みも十勝岳がもたらしてくれています。美瑛町、上富良野町の宝をしっかりと有効活用していくために国内的、世界的に認知度が高くなる認定を受けることにより、観光や物産等において有効的な活用が深まることを目指すため協議を進めています。ジオパークの認定は、きわめて精度の高い認定となっており、認定を受けることによってどのような効果が生まれるかを試算することは難しいですが、認定されることによって住民一人ひとりの誇りにもなりますし、このことを活用した地域産業や文化教育等の振興に繋げていけるよう努力したいと考えています。

旭野住民会長： 高速ブロードバンド環境整備により、旭野分館付近に2本電

柱が立ちましたが、ケーブルが地面の上に這っています。毎年、その付近は住民会で草刈りを行っている部分であり、ケーブルを切ってしまう恐れもありますので、地面に埋設するよう対応していただくことはできないでしょうか。

総務課長： 現地を確認し、対応に努めたいと思います。

日新住民会長： 昨年度2月に行われた十勝岳噴火総合防災訓練について、日新住民会として参加し、噴火を想定した避難訓練を実施したつもりだったのですが、避難場所まで救援隊に到達していただけませんでした。実際に噴火した際には、市街地での避難にも追われることから日新地区では半日から1日間は外で過ごさなくてはならないと住民会内で想定しています。今年度、ハザードマップが見直されるということで、高台に避難するというだけでなく、一時避難後でもバックアップが可能な避難場所を設定していただきたいと思います。

上富良野小学校が新しくなり、新しくなってからインフルエンザの発症がないという素晴らしい事例があります。自衛隊の異動の関係で上富良野町に転入される方等もいますし、小学生や中学生に対し食育講座等の田舎の特色に触れていただけるような教育をしていただきたいと思います。

以前、テレビで2040年の全国市町村の数が現在の半分まで減少するとの報道がありました。人口の減少について、上富良野町としてはどのような想定をしているのかお聞かせください。

副町長： 避難体制について、大正15年の十勝岳噴火を想定した避難エリアを設定しており、特に清富、日新区域においては、急な災害の場合は避難所までの移動は困難であると考え、高台へ避難することを優先するよう努めていただくことを想定しています。防災計画上では、高台への避難後は、ヘリコプターやキャタピラー等の活用により救助を行う想定をしていますが、それまでに要する日数や時間については想定できていません。瞬時にあり得る災害を想定し、防寒の対策や非常食の確保等、各住民会内でも想定していただきたいと考えています。また、現在は噴火予知も可能であると考えており、町では防寒用毛布や非常食等の備蓄品の整備をする計画になっています。全ての要望にお応えすることができない可能性もありますが、住民相互の連携がとれるよう努めたいと思います。

教育振興課長： 食育について、食育推進基本計画に基づきまして、各学校、保健福祉課や給食センターの栄養士と連携をとりながら、地元で収穫した農産物の生産過程についての食育等を食育のマナーに触れながら授業や給食の時間に食育の推進を図っています。季節により地元で収穫できるものは優先的に給食に活用し、給食だよりには子どもたちにもわかりやすいよう地元産のものは太字で記載する等工夫しています。

副町長： 市町村の減少について、昨年5月に日本創生会議が発表した将来推計では、このまま人口減少が続けば2040年には現在の全国自治体約1,

700の内半分が消滅してしまう、北海道では179市町村の内8割が消滅してしまうのではないかという衝撃的な報道がありました。2040年の上富良野町の人口は約8,000人、さらに加速が進めば約6,000人まで減少してしまうと想定されています。全国共通の話ではありますが、上富良野町においても人口減少に対し少しでも歯止めをかけるため、平成27年度中に地方版総合戦略を策定し、農業、観光、商工業等の振興を図り、数十年後も人口が減少しない対策に努めたいと考えています。

町長： 人口減少はハードルの高い課題であります。地方版総合戦略については、精神論のような抽象的なものではなく、町として実現性の高い具体的な内容のものを策定しなければなりませんので、皆様から知恵をいただきながら実現する覚悟をもって取り組みたいと考えています。

島津住民会長： 災害時について、まず避難は地域で助け合って避難場所に避難するというような話がありました。島津住民会では、総会時に島津地区の住民会、町内会に加入していない方について話題になりました。住民会、町内会に加入していない人たちは加入に理解を示さず協力していただけません。さらに、一部では住民会を脱退するという住民もおりましたが、説得し引き止めました。市街地にもたくさん加入していない人がいると聞いていますし、加入していなくても何も不自由ないという認識を持たれている状況になっていますので、加入していない方に対しての啓発の強化をお願いしたいと思います。

町民生活課長： 皆様にお配りしている資料にありまように、町内会加入のご案内のパンフレットを町で作成しています。郡部だけではなく市街地においても町内会加入の促進について大変苦慮していると伺っています。町内会の運営だけではなく、生活基盤であるごみのことや地域活動、災害が起きた際にどのようにしてお互い支え合うのか等についても苦慮しているとのお話をいただいています。町で作成したパンフレットではありますが、地域や近隣同士の助け合いが大切であるとの思いから作成しています。今まで活動していたにも関わらず脱退したいとのお話があったことについては本当に心苦しいことでもあります。平成24年度から開催している地域コミュニティ活性化会議において、各住民会長と情報交換しながら町内会加入促進について検討していきたいと考えています。

町長： 地域を預かっておられる立場の苦しい胸の内をお聞きしました。昭和の中頃から平成にかけてはお祭り事などを含めて地域の活動が活発でありました。それが少しずつ現在のような状況に変化してきたことから、あらためて「協働のまちづくり」を柱にしているところであります。これからのまちづくりに向けて協議を進めているところでありますが、住民会の活動の方向性について構想や悩みがありましたらお聞かせいただきたいと思います。

旭住民会長： 観光・防災Wi-Fiステーション整備事業について、どのような場所に設置する予定なのかお聞かせください。

企画財政班主幹： 現在の予定では12か所の設置を予定していきまして、日の出公園展望台、日の出公園ロッジ、日の出オートキャンプ場、千望峠、見晴し台公園、ジェットコースターの路、深山峠ラベンダー園、深山峠展望台、草分防災センター、泉栄防災センター、セントラルプラザ、吹上温泉保養センターの町内の観光案内所、主要な観光拠点、防災施設に皆様が自由に利用できるWi-Fiスポットを設置して、観光客や災害時の避難者がインターネット等の情報を取得できる整備を進める予定です。併せて、昨年度の情報通信インフラ整備により、現在、千望峠、ジェットコースターの路、日の出公園展望台にライブカメラを設置し、今回の補助事業と併せて草分防災センターにも設置する予定であり、ライブカメラを使い十勝岳、ラベンダー等周辺の景観を、インターネットを介して見るができるよう準備も進めているところです。今年の夏期までには提供できるようにしたいと考えています。

南町住民会長： 役場庁舎内の各課窓口のデスクに設置されている写真入りの担当者紹介の案内が認識しやすく大変良いと感じました。ぜひ継続していただきたいと思います。

町の広報について、以前はファイルにつづりやすいようにとじ穴があいていたのですが、最近発行されている広報は穴がありません。広報担当に話を聞くと、顔写真が穴の位置にあたることもあるため穴をあけていないとのことでしたが、編集の段階でどうにかできるのではないかと住民から意見をいただき、結論としては穴があると保存しやすいとのことでありましたので、ぜひご検討いただきたいと思います。

十勝岳の観測体制について、白金温泉地区にある十勝岳火山観測所が現在は人の配置はなく、カメラのみの観測となっているとテレビで放送されているのを見たことがあります。カメラのみの観測と人の配置があって観測するのでは違いがあると思ひ、その典型となっているのが有珠山噴火で、人による観測もあったおかげで被害が非常に少なかったという事例もあるので、人の配置をするべきであるとの声もありました。十勝岳火山観測所は無人でも活躍しているのか、それとも放置された状態になっているのか、その状況も含めてお聞かせください。

副町長： 担当者紹介の案内について、今後も維持向上を目指します。

町民生活課長： 広報誌のとじ穴について、地域では広報誌をとじていつでも見られるように保管したいとのことで、2つ穴をあけて配付していた経過がありました。現在は、穴をあけないで配付しており、皆様がとじる際に穴をあけていただくことはやむを得ないとのことで発行しています。広報の紙面の関係で表紙は全面表紙とさせていただいており、中の紙面の割合も人の顔や身体が掲載される場面も多くあり、写真をなるべく大きくして掲載したいと考えています。編集で穴のあくところに写真を入れなければ可能ではないかというご意見もあろうかと思いますが、昨今の自治体の広報誌は穴をあけずに発行している経過もあり、当町でも見直しを図り現在のかたちで発行し

ています。今回、穴をあけていただきたいというご意見があったことを受け、今後編集等において検討していきたいと思っておりますので、現在のところはお理解いただきますようお願いいたします。

副町長： 十勝岳の観測体制について、現在はハイテク機器が相当整備されていまして、火山性地震、微動、火口の温度、噴煙の高さ、火口周辺の広がり等を遠隔操作により、札幌管区気象台で24時間監視がされています。連絡体制についても、噴火した場合瞬時に連絡を受けられるようホットラインを結んでおり、町職員に対する緊急連絡体制も整っています。平成27年4月4日に十勝岳の火山性微動が134回を数え、この10年間で最も多い観測があったことも瞬時に連絡をいただいています。状況によっては、札幌管区気象台や旭川地方気象台から24時間監視のため白金温泉地区の十勝岳火山観測所へ配置につくことあると思います。観測体制については、最新の機器をもって整えられているということをご理解いただきたいと思っております。

泉町住民会長： 子どもの医療費の無料化について保護者からの要望が多く、他の市町村では無料化を行っておりますし、上富良野町でも実現していただけないのでしょうか。予算が厳しいこともあるかと思われませんが、工夫して子どもの医療費の無料化を行っている自治体もありますし、医療費の抑制にもつながるとも聞いています。積極的に実現に向けて動いていただきたいと思っております。

副町長： 平成27年度から小児任意のB型肝炎ワクチン、ロタウイルス、おたふくかぜの予防接種が無料で受けられるようになり、インフルエンザ予防接種については、1歳から18歳までは自己負担1,000円、非課税世帯では自己負担なしで受けることができます。医療費を無料化するという考え方もありますが、病気になりにくい子どもの育成体制を整えることを優先し取り組んでいるところです。この先、子どもの医療費の無料化をしないということではなく、順次拡大を図りたいと考えていますのでご理解いただきますようお願いいたします。

(15時33分)

《閉会》

(15時35分)

町政懇談会終了後、同会場で15時40分から消防後援会総会、16時20分から住民会長連合会総会を開催。別紙参考資料。